

1. 揚網機等への巻き込まれ事故の分析

(調査結果) 死傷事故の約 7 割が、漁具等の揚収中に巻き込まれて発生

平成 25 年から令和元年 8 月までに調査報告書で公表された巻き込まれ事故 111 件（死傷者 111 人）について、事故の発生状況を分類すると表 1 のとおりです。

網や縄、漁具、錨等を揚げていたとき（以下、「揚収中」）に発生した事故が 74 件（死傷者 74 人）（66.6%）、漁網や錨等を海中に投入していたとき（以下、「投入中」）に発生した事故が 20 件（死傷者 20 人）（18.0%）でした。

また、巻き込まれ事故 111 件のうち、90 件（死傷者 90 人）（81.1%）が漁労中に発生していました。

表 1 巻き込まれ事故が発生した状況別の死傷者数

(単位：人)

	死亡	行方不明	重傷	軽傷	計
揚収中	24 (23)	0 (0)	41 (34)	9 (6)	74 (63)
投入中	11 (10)	1 (1)	7 (7)	1 (1)	20 (19)
その他	2 (1)	0 (0)	11 (6)	4 (1)	17 (8)
計	37 (34)	1 (1)	59 (47)	14 (8)	111 (90)

※ () 内は漁労中の人数を表す。

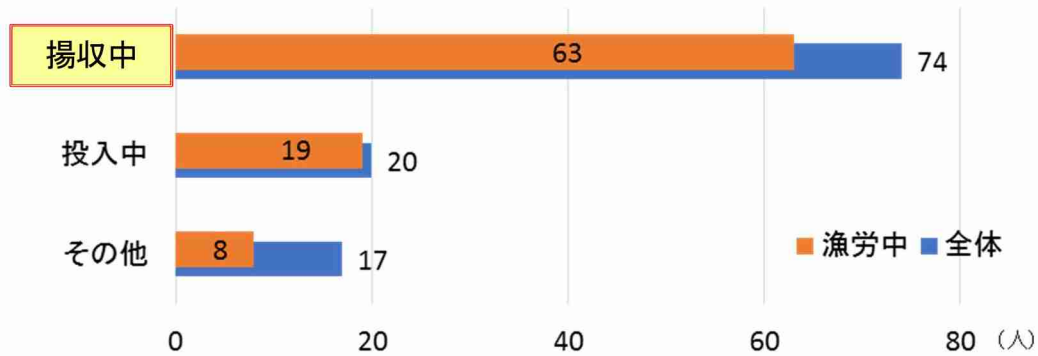
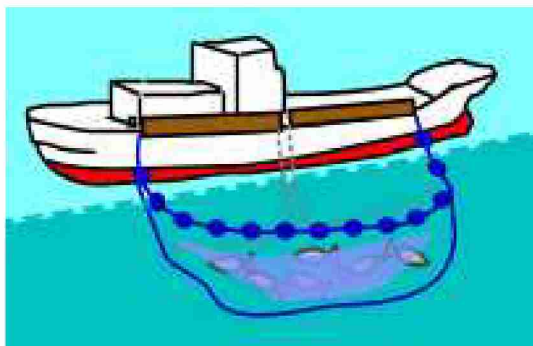


図 2 巻き込まれ事故が発生した状況別の死傷者数



(調査結果) 揚収中の事故の多くは、稼働中の揚網機等への巻き込まれ

漁労中に発生した巻き込まれ事故 90 件について、作業状況を整理すると、揚収中に巻き込まれた事故が 63 件（死傷者 63 人）（70.0%）、投入中に巻き込まれた事故が 19 件（死傷者 19 人）（21.1%）でした。揚収中に発生した事故 63 件中 60 件（死傷者 60 人）が、運転中の揚網機等（揚網機、揚錨機）に巻き込まれて死傷しています。投入中に発生した事故 19 件のうち、11 件（死傷者 11 人）は網やロープが身体に絡んだことにより、転倒や海中転落、船体と挟まれて死傷しています。

ほとんどの事故は、作業位置に近い場所で発生しています。

表2 巻き込まれ事故が発生した作業状況別の死傷者数

(単位：人)

	巻き込まれた機器			計
	揚網機等	網・ロープ等	その他	
揚収中	60	1	2	63
投入中	6	11	2	19
その他	3	2	3	8
計	69	14	7	90

(参考) このような揚網機等に巻き込まれた事故が発生しています。



図3 揚網機等の例（事故調査報告書より）

(調査結果) ローラに触れる作業を行っているときに多くの事故が発生

揚収中、稼働中の揚網機等に巻き込まれた60件について、巻き込まれに至る状況が判明した38件(死傷者38人)についてみると、半数以上の22件(57.9%)の事故が、ローラに網を固定する作業など、回転部(ローラ)に触れる作業中に発生していることがわかりました。また38件の事故について、調査報告書で指摘された48個の要因を整理すると、約半数の25個(52.1%)で「安全上の注意事項を守らなかった」が要因であることがわかりました。ついで、「とっさ・思わずの行動」が13個(27.1%)となっています。

表3 巻き込まれに至る状況

回転部(ローラ)と事故直前の作業の関係	事故件数	指摘された要因の個数				合計
		安全上の注意事項を守らなかった	とっさ・思わずの行動	服装の不備	その他	
回転部に触れる作業	22	17	6	3	5	31
回転部に触れない周辺での作業	12	5	6	0	1	12
回転部から離れた位置での作業	4	3	1	1	0	5
合計	38	25	13	4	6	48

表4 指摘された要因の具体例

要因の項目	判明した具体例	個数
安全上の注意事項を守らなかった	機器の取り扱い (注意事項を知らなかった)	1
	作業位置の不適正 (立ち位置が近かった、網・ロープ等に足を踏み入れた)	2
	手順不適正 (ローラを減速・停止しないまま作業実施)	7
	周囲の状況の確認不足 (他の状況が気になり手元を見ていなかった)	6
	情報共有不足 (作業中と知らずローラを回転させた)	3
	単独で作業を行った (複数人で行う作業を気遣って単独で実施した)	6
とっさ・思わずの行動	仲間へのサポート (人を助けようと慌てた、人手不足を補助しようとした)	2
	網などの整理作業 (ごみ除去、ロープ緊張状態の解消、網が外れた)	7
	誤操作 (緊張・興奮状態だった、作業手順を誤った)	4
服装の不備	服がローラに絡まった	4
その他	自然環境 (船体動揺によりバランスを崩した、風による網の逆巻きに巻き込まれた)	3
	整備不良による誤操作など	1

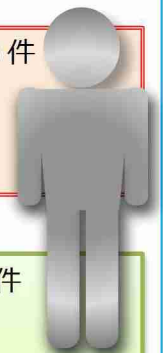
(調査結果) 上半身から巻き込まれる事故が多く発生

揚収中、稼働中の揚網機等に巻き込まれた60件中、最初に巻き込まれた身体の部位が判明した53件のうち、上半身から巻き込まれものが48件、下半身から巻き込まれたものが5件ありました。

上半身から巻き込まれた48件中、骨折や指の切断に至った等の重傷が29件、全身の多発外傷や圧迫等により死亡に至った13件、下半身から巻き込まれた5件中、圧迫による両肺圧挫傷等より死亡に至った3件がありました。

上半身から巻き込まれた：48件

- ・重傷 29件
右前腕開放骨折など
- ・死亡 13件
外傷性腎損傷など



下半身から巻き込まれた：5件

- ・重傷 2件
左大腿切断、
右脛骨骨幹部骨折
- ・死亡 3件
両肺圧挫傷など